

生涯現役、体が元気なうちは働きたい シニアは介護を支える縁の下の力持ち

セカンドキャリア

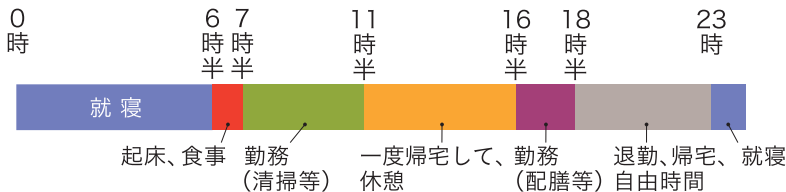
小村昭二さん / 71歳

特別養護老人ホーム なの国
シニア雇用として介護以外の掃除や配膳などを担当

キャリア

18歳頃	工業高校卒業後、ガラス工場に勤務
21歳頃	大手コーヒー会社に転職
32歳頃	女性用アクセサリー販売の自営業を始める
65歳頃	アクセサリー販売を廃業後、デイサービスに勤務
68歳頃	特別養護老人ホーム なの国 に勤務

ある日の1日



POINT

- 介護の資格がなくても働けることを知って、セカンドキャリアを歩みだす
- シニアスタッフは介護を支える欠かせない存在
- 生涯現役、働く動機は「体が元気なうちは働きたい」

福祉の仕事をする前は何をしていた？

— 勤め人からアクセサリー販売の自営まで幅広く経験

65歳で現役を引退するまで、福祉との関わりはありませんでした。工業高校を卒業するとガラス工場に就職し、ガラスを溶かすオペレーターとして、タンブラーなどコップ類を作っていました。3年後、今度は大手コーヒーメーカーに転職し、喫茶店やスーパー、デパート、茶舗にコーヒーを卸すセールスに、11年にわたって従事していました。

その後、独立して女性向けアクセサリーを販売する自営業を始めました。当時、ネックレスやブローチといったアクセサリー類はよく売れ、利益も大きかったので、複数の店舗の空きスペースを借りて、店舗から店舗へと飛び回っていたものでした。これを32～33年やって65歳の時廃業しました。

— 介護の資格がなくても働ける仕事に就けたのがきっかけ

自営業を辞めたものの、何もせずに1日家に居るのは落ち着きません。そこで、ハローワークに行き、個人経営の小さなデイサービスを見つけました。年齢的に無理かとも思いましたが、話を聞くと「まだ働ける、大丈夫!」ということで働き始めました。仕事は送迎とレクリエーションでした。利用者さんのトランプのお相手をよくしましたよ。介護の資格は今も持っていません。一時ヘルパーを目指したのですが、資格がなくても働くことはできるとわかったので(笑)

今の職場(なの国)は2年3ヶ月くらいになります。ここもハローワークで見つけました。家の近くで働けるのが決めた1番の理由です。歩いて5～6分で通えます。

❗ 福祉の仕事をする前と後で、イメージは変わった？

— 直接の介護はしていませんし、介護に先入観はありませんでした



今の仕事は食事の配膳と敷地内の清掃が主で、おむつ交換のような直接の介護業務はありません。それは専門の方の仕事ですね。なので、施設で働く前と後で福祉のイメージが変わったということはありません。

いまは、週4日、午前7時半から11時半までと、夕方4時半から6時半まで、1日に合計6時間働いています。無理せず働けて、体の調子も悪くならないので続けられています。体力がある間は、今の仕事を続けたいですね。今の仕事は、持病さえなければ誰でもできると思いますよ。

配膳や清掃以外の仕事で、施設内にコーヒーサークルを作りました。家庭用コーヒーの販売をしていた頃、コーヒー教室を開いて、いろいろな人の前でコーヒーを点てていました。それで、月に1回、入居者にコーヒーを振舞っています。ブルーマウンテンとか、ウィンナコーヒーとか、毎回テーマを決めて開催しています。皆さん、楽しみにしてくださっています。

❗ 仕事以外はどんな生活をしている？

— 将来は自家焙煎コーヒーを入居者に振る舞うのが夢

今は一人暮らしです。息子が宗像の施設に入っているので、連休など長い休暇の時は、車で1時間半かけて家に連れて帰り、一緒に過ごしています。最近はコロナ禍で面会もままならないので、寂しいですね。

普段の空いた時間は、食事や昼寝をして過ごしています。昔はジグソーパズルに凝っていたものですが、今はこれといって夢中になっていることはありません。休みの日は近くの店まで買い物に行くのが楽しみです。

将来は、自家焙煎したコーヒーを入居者の皆さんに振る舞いたいですね。コーヒーを点てるのは、コツがわかれば難しくありません。温度が大事で、熱過ぎてもぬる過ぎてもいけません。一番大事なのは水です。水道水ではなくて、ペットボトルの水がいいです。コツが頭に入っていればおいしいコーヒーが点てられますよ。



取材を終えて

セカンドキャリアで介護施設での仕事を選ばれた小村さん。小村さん以外にも数名のシニアスタッフが働いておられますが、スタッフさん曰く、「シニアスタッフがいないと、施設はまわりません。」と言われるほど、大切な役割を担っておられます。